

令和7年度「夏のNIEセミナー」アンケート結果

- ・セミナー参加者数 会場66名 オンライン22名
- ・アンケート回収数 教員17名 教育関係者1名 新聞社関係3名 その他6名

①和田征子様への平和講演についてご意見・ご感想をお聞かせください。

【教員】

- ・いま原爆の被害を語ってくださる方の高齢化や減少が話題となっている中、大変貴重なお話を聞かせていただきました。ノーベル平和賞の授賞式のことに関してもなかなか知ることのできない内容ですので、大変興味深かったです。
- ・新聞や書籍で知る情報も良いのですが、講演者・筆者の生の声から感じとれる情報の大切さを改めて感じています。これぞエンパシー。
今後、教育現場において共感してもらえらる場面・状況を作るべく、意識していこうと思いました。
- ・一つ一つの言葉に力があり、心に残った。中でも、同情ではなく共感、実相の大事さという2点が響いた。
- ・戦後80年の節目でとても心に残る講演でした。
- ・被団協の活動によって3回目の核使用が阻止されてきた。戦争と平和について考える有意義な時間となった。
- ・今回千葉から参加させていただき、本当に話が聞けて良かったです。とくに原爆投下当時のお話や今の被団協の核兵器廃絶に向けての取り組みや考えを聞かせていただきあらためて平和教育の大切さを感じました。今日の経験を今後に生かしたいと思いました。
- ・とても貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。被爆された方、太平洋戦争を経験された方から直接お話を聞くことが難しくなっているということを痛感しました。和田さんも、間違いなく直接の経験者でいらっしゃるけれども、ご自身の記憶は殆どないのだと思います（私の両親が同い年でそう言います）。だからこそ、お母様のお話をそのまま伝えると仰ったことに深い意味を感じます。被爆者や日本の戦争経験者が高齢化して減ってきていることは、平和を守るにあたって意識しなければならないことであると同時に、それだけ長く守ってこられたことの証でもあると思います。私は戦争経験者の子孫として、きちんと知り、考え、伝える努力をしていきたいと思っています。
- ・核兵器の怖さについてお話を聞いて本当によく分かりました。また、被団協の歴史、ノーベル平和賞の受賞式について聞くことが出来て良かったです。
- ・日本の活動と海外の活動とのギャップを知れた。
- ・ノーベル平和賞へたどり着くまでの、様々な体験など貴重な話がお聞きできて勉強になりました。ありがとうございました。

- ・「人類の危機を救う」ために自分でできることを改めて考えてみようと思いました。
- ・貴重な体験や平和を考えるきっかけになるお話をうかがうことができ本当に良かった。心をうつ内容だった。8月のお盆の時期にたくさんでる記事をスクラップし、ぜひ活かしていきたい。
- ・新聞社の話よりも「実体験の力」を感じるので、今後もこうした団体の方の話をきいてみたい。
- ・母から聞いた話しかしない。とおっしゃっていたことが心にのこりました。80年という年月、90、100と・・・この先も伝えつづけるために、どうしていくのか、今の現役世代の力が必要と強く感じています。
- ・和田征子様のリアリティを大切にした講演ありがとうございました。ご本人は高校で新聞部だったことはきっと大きかったのかも・・・と感じました。自分が体験した事実しか伝えない(そこを中心に構成している)その姿勢が生き生きとして輝いていると感じました。そして、積極的に依頼を受ける前向きさが人生の先輩として一番心に残りました。ありがとうございました

・

【教育関係者】

- ・当事者のお話は、重みが違いました。「母から聞いたことしか話さない」と述べられたことは、事実を非常に大切にしておられるのだと感銘を受けました。フェイクニュースが氾濫している今こそ、学校で見習ってもらいたいと思いました。

【新聞社】

- ・「実相」リアリティを大切にしているという言葉が一番心に残りました。お母様から直接聞いた話以外はしないようにしているとのこと。SNS 情報が蔓延する中で、何事にもこの視点は大切だと思います。もちろん核無き世界の実現は一人一人が本気を出すことなのだろうと思います。
- ・「言葉による証言活動」を続けてこられたこと、このような機会により、あらためて実際にお話を聞かせてもらう強さを考えさせられました。貴重で希少な機会、ここで伺った話をもっと多くの方々に聞いてもらいたい、報道に携わるものとして、報道によってきちんと伝えなくてはと気を引き締めました。

【その他】

- ・被団協や和田さんの活動や想いについて初めて知ることが出来る機会となりました。被爆者の方の経験談をお聞き出来る貴重な機会、当時の様子やどのような被害があったのかを写真から知り、核兵器の恐ろしさや影響について考えさせられました。貴重な機会をいただきありがとうございます。

- ・貴重なお話を伺うことができました。共感することの必要性を感じました。核兵器や平和について、自分事として考えて参ります。
- ・何度か被爆者の方との話を聞かせてもらっているが、人の口で伝えられる言葉は重みが違うと感じた。少しでも吸収できるといいな。
- ・戦争の悲惨さを改めて知ることができた。勝手に知ったつもりになっていたが、経験者の話を聞くと想像に過ぎないことだったと痛感した。

②埼玉県立松山高校の発表についてご意見・ご感想をお聞かせください。

【教員】

- ・生徒のみなさんや先生がどれほどの熱量をお持ちで、新聞部として、「報道する」「伝える」ということを大切にしているかが伝わる発表でした。
- ・青春していて、元気をもらいました。いろいろな新聞があって、いいなと思いました。
- ・分業から育っていく力を、生徒さん自身も感じているようでした。
- ・「必要だと思う相手には必要だときちんと伝えよう」は、キーワードになっていると思います。緻密な計画の上での自由…。緻密な計画を組んでいくことが、私たち教師が力を入れていく場面だと思っています。生徒に期待する気持ちを持ち続けたいと…改めて思いました。
- ・少々内訳な話が多かったが、とはいえ配布された新聞のクオリティは素晴らしいものだった。
- ・エネルギーが凄いなと思いました。埼玉の伝統校という感じがひしひしと伝わってきた。
- ・総合文化祭三連覇に相応しい矢野先生の熱意、指導力。学びだけでなく生徒たちの人間的成長を強く感じた。先生の度量の大きさがあってこそ、生徒がのびのび活動出来るのだと感じました。中学校で同じようにはいかなくても、先生のお話はいくつか参考になりましたので生かしていければと思います。
- ・高校生の発想とパワーに感心しました。自分たちの興味感心のあることを、自分たちなりに精一杯調べて考えて記事にし、新聞を作っていることがよく伝わってきました（少し文法的に気になる文章もありましたが…）。これからも協力し合って、素敵な新聞をどんどん作ってください。松高の魅力がたくさんの人に伝わって、倍率が上がりますように！
- ・松山高校の新聞部の生徒の話しや顧問の矢野先生からの話しが聞けて、良かったです。部員が集まったのは矢野先生のお人柄なのではないかと思いました。
- ・高校の新聞部でご苦勞なされた事や、それでも生徒さん達が活発に活動する様子を拝見することができ勉強になりました。
- ・「若い世代だけでなく教員も新聞を読まなく(?)になっている。」(発表の中で言葉をききながら)若い世代からの発信はよいですね。高校の先生は発表を添削したり練習しなくてよか

ったりすることが驚きです。高校生は大人ですね。やはり、賞をとるということは継続の1つの原動力になるのだと高校生の発表を聞きながら感じた。「自分が、自分は必要な存在なんだ!」と思ってほしいという顧問の先生の話は共感します。顧問の先生の「何くそ!」という思い、そして「自分たちの興味を大切に」とすすめていく生徒の力に感動しました。リーダー決めるってドラマですね、校内人事と一緒に感じました。本校では NIE チームとしてグループ研を若手教員中心に編成し、子供たちの情報活用能力や言語能力を高めていくために(NIE 推進の先行実践をもとにして)実践できることを考え、実施しています。1 学期は若手 3 年目が産経新聞「かんたん号外くん」を活用して移動教室の一人一人のまとめをするとともに班での壁新聞に力をいれていました。今後が楽しみです。

- ・ どう、他校にも広がるのか。今後もこうした企画があるとよい。
- ・ 高校生が楽しそうに活動している姿が印象的でその部分を上手に引き出している矢野先生もまた素晴らしかったです。
- ・ 高校において、どのように新聞部が活動したり、復活(廃部から日本一の新聞部に)なってきたのか、よく分かりました。顧問の矢野先生の熱血ぶり、すべての生徒を大切に思う気持ちがよく伝わってきました。 素敵な発表、ありがとうございました。
- ・ 自分は小学校籍で、高校の先生(中も)は、部活も進路もあり、本当に大変だと思います。小は小の大変さもあるのですが……。今後もがんばって下さい。先生の生徒に向き合う姿に心をうたれました。生徒も先生も、組織を生かして、人の力を生かして、生き生きしていると感じました。自校の新聞委員会に生かしたいです。

【新聞社】

- ・ 青春していて、元気をもらいました。いろいろな新聞があって、いいなと思いました。
- ・ 綿密な打ち合わせを経たうえで「お話になりたいことが山のようにあるのはじゅうぶん理解できますが、焦点を三つぐらいに絞って矢野先生ならではのメッセージをお伝えください」といったお膳立てができれば、それに越したことはなかったかもしれません。なにもねだりの「結果論」で、すみません。
- ・ 本当に楽しそうで部活なのだなと思いました。 自分の興味関心を行動に変えて文章やレイアウトに表現する、新聞に限らないかも知れませんが、美術でも吹奏楽でもテニスでも……。一緒だと思いました。キャンバスやグラウンドのかわりに新聞紙を作ってくれていること、関わる人間として心強く思いました。

【教育関係者】

- ・ 新聞作りを通して生徒の皆さんが成長する様が、ホントに素敵でした。教員の負担軽減策として、「部活」の校外委託が話題になる中ですが、やはり「部活」で成長することって大きいので、学校の教育活動の中にあって欲しいです。松高は人数が多いだけじゃない。生徒同士の繋がり、そして何より思いのある教師あつての 3 連覇だと思います。心が熱

くなる報告でした。

【その他】

- ・全国規模の新聞部の活動や、矢野先生の想いをお聞きすることが出来、とても刺激を受けました。分業制の影響や効果が面白く、高校の部活動で取り入れていらっしゃる事が魅力的で、生徒の強みを伸ばす方針に共感しました。楽しいお時間をありがとうございます。
- ・実際の運営がよくみえて、とても勉強になりました。
- ・矢野先生の生徒を想う強さや、確立した方針を知ることができて良かった。
- ・緊張して変なことを口走っていないかが心配。どうか良い記事になりますように。

③ その他、全体を通してご意見・ご感想など。

【教員】

- ・松山高校の新聞を手にすることができ感激。良いものを沢山見て、改良していきたいと思っています。
- ・とても勉強になったので、また東京のセミナーに参加させて下さい。案内をいただければと思います。
- ・とても有意義なセミナーでした。ありがとうございました。
- ・数年前から参加させていただいています。今回も貴重なお話を聞けて良かったです。ありがとうございました。
- ・平和の活動について考えられる有意義な時間だと思った。
- ・夏休みの1日、とても充実した時間を過ごすことができました。関係者の皆様に感謝申し上げます。ホントにありがとうございました。
- ・貴重な話をお聞きできました。今後の仕事に活かしていきたいです。本日はどうもありがとうございました。音声のとぎれとぎれになってしまい残念でした。また、今後このような機会がありましたら参加したいと思います。
- ・夏のNIEセミナー、本当にありがとうございました。とても学びになりました。
- ・ありがとうございました。
- ・いつも運営ありがとうございます。
- ・夏のセミナーは参加しやすく、大変ありがたいです。
- ・音声途切れ途切れになってしまい、聞き逃してしまった部分もあると思います。その点は残念でした。また、機会がありましたら参加したいと思います。

【新聞社】

- ・濃密なセミナーでした。準備された方に感謝いたします。
- ・ご盛会、なによりでした。事務局のお二人や当日裏方を務められた先生方に感謝もうしあげます。ありがとうございました。
- ・今年も(今年は特に?)素晴らしいセミナーでした。社内に声掛けして、NIE の取り組みの理解者を増やせたかなと思います。

【その他】

- ・夏休みの1日、とても充実した時間を過ごすことができました。関係者の皆様に感謝申し上げます。ホントにありがとうございました。
- ・貴重な場を用意していただき誠にありがとうございました。